

1. ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシー	
DP1	観光と社会の双方について基本的な知識を身に付け、適切に理解して活用することができる。
DP2	グローバルな視点から、多様な背景、価値観、文化を持つ人々を理解する教養を身に付け、適切に理解して行動することができる。
DP3	国内外でグローバル化が進む社会において求められる語学力、情報リテラシー、プロジェクトのマネジメントについて理解し活用することができる。
DP4	グループワークに必要なコミュニケーション能力を身に付け、相手の立場に立って考え、共感力を引き出すことができる。
DP5	社会人として必要な倫理性を身に付け、多様な価値観を認める寛容さと他者理解の上に立つ共感力、豊かな表現力を持って、持続可能な社会の構築に向けて連携・協働することができる。
DP6	現場での活動を通して身に付けた「やり抜く力」を活かし、主体的に課題を発見し、解決に向けて行動することができる。
DP7	生涯にわたって学習し自己研鑽を重ねる意欲のもと、社会が求める知識・技能を持続的に高めながら、観光の新しい価値の創出に努めることができる。

2. アセスメント・ポリシー

#	アセスメント項目	アセスメント・プラン	対応するDP							責任主体	備考
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7		
1	GPA	学修成果スコアシートにて配分スコアに基づいて積算スコアを算出、指標の広がりとの相対評価を実施し、アセスメントを行う。	○		○					学部執行部	学部教務委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
2	海外プログラム	学修成果スコアシートにて配分スコアに基づいて積算スコアを算出、指標の広がりとの相対評価を実施し、アセスメントを行う。		○			○			学部執行部	学部教務委員会、学部国際教育委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
3	インターンシップ	学修成果スコアシートにて配分スコアに基づいて積算スコアを算出、指標の広がりとの相対評価を実施し、アセスメントを行う。					○	○		学部執行部	学部教務委員会、学部キャリア形成・就職委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
4	検定/資格 (TOEIC)	学修成果スコアシートにて配分スコアに基づいて積算スコアを算出、指標の広がりとの相対評価を実施し、アセスメントを行う。			○			○		学部執行部	学部教務委員会、学部国際教育委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
5	検定/資格 (TOEIC以外)	学修成果スコアシートにて配分スコアに基づいて積算スコアを算出、指標の広がりとの相対評価を実施し、アセスメントを行う。	○					○		学部執行部	学部教務委員会、学部キャリア形成・就職委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
6	プロジェクト/ボランティア活動/学会活動/課外活動 (学内活動)	学修成果スコアシートにて配分スコアに基づいて積算スコアを算出、指標の広がりとの相対評価を実施し、アセスメントを行う。				○		○		学部執行部	学部教務委員会、学部地域連携運営委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
7	プロジェクト/ボランティア活動/学会活動/課外活動 (学外活動)	学修成果スコアシートにて配分スコアに基づいて積算スコアを算出、指標の広がりとの相対評価を実施し、アセスメントを行う。				○		○		学部執行部	学部教務委員会、学部地域連携運営委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
8	成績評価	専門科目群の単位修得状況及び成績でアセスメントを行う。	○							学部執行部	学部教務委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
9		語学科目の単位修得状況及び成績でアセスメントを行う。			○					学部執行部	学部教務委員会、学部国際教育委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
10		ICT科目の単位修得状況及び成績でアセスメントを行う。			○					学部執行部	学部教務委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
11		ゼミ活動科目及びプロジェクト科目の単位修得状況及び成績でアセスメントを行う。				○	○	○		学部執行部	学部教務委員会、学部地域連携運営委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
12	DPルーブリック	DPルーブリックによるアセスメントを行う。	○	○	○	○	○	○		学部執行部	

観光学科（課程レベル）新旧DPマッピング表

◆新DPと旧DPの比較

新ディプロマ・ポリシー (2022年度入学生から適用)	
DP1	観光と社会の双方について基本的な知識を身に付け、適切に理解して活用することができる。
DP2	グローバルな視点から、多様な背景、価値観、文化を持つ人々を理解する教養を身に付け、適切に理解して行動することができる。
DP3	国内外でグローバル化が進む社会において求められる語学力、情報リテラシー、プロジェクトのマネジメントについて理解し活用することができる。
DP4	グループワークに必要なコミュニケーション能力を身に付け、相手の立場に立って考え、共感力を引き出すことができる。
DP5	社会人として必要な倫理性を身に付け、多様な価値観を認める寛容さと他者理解の上立つ共感力、豊かな表現力を持って、持続可能な社会の構築に向けて連携・協働することができる。
DP6	現場での活動を通して身に付けた「やり抜く力」を活かし、主体的に課題を発見し、解決に向けて行動することができる。
DP7	生涯にわたって学習し自己研鑽を重ねる意欲のもと、社会が求める知識・技能を持続的に高めながら、観光の新しい価値の創出に努めることができる。

旧ディプロマ・ポリシー (2021年度入学生まで適用)	
DP1	観光及び社会に関する基礎的な知識を有し、論理的かつ批判的思考力・判断力のもと高い倫理観をもってこれら専門的知識・技能を活かせること。
DP2	多様な価値観を認める寛容さと他者を理解する共感力を備え、観光及び社会における問題に取り組み、持続可能な社会に向けて連携・協働できること。
DP3	現場での活動から得た「やり抜く力」を活かして、観光及び社会における問題に主体的に取り組み、新しい観光の価値を創造する力を有すること。
DP4	生涯にわたって学習し自己研鑽を重ねることで観光及び社会が求める知識と技能を持続的に高め、自己実現に向けて活動できること。

◆新DPと旧DPのマッピング

新DP	旧DP										
DP1	<i>DP1</i>										
DP2	<i>DP2</i>										
DP3	<i>DP3</i>										
DP4	<i>DP1</i>	<i>DP2</i>									
DP5	<i>DP1</i>	<i>DP2</i>									
DP6	<i>DP3</i>										
DP7	<i>DP4</i>										

備考